

2018年度 大阪教育大学共同参画推進事業 活動結果報告

小・中学生の多様なキャリア開発に向けて

－「ジェンダー意識と家庭生活観の調査」を基にした授業研究－

(代表者)	家政教育講座	教授	大本	久美子
(分担者・協力者)	家政教育講座	教授	鈴木	真由子
	家政教育講座	特任准教授	加賀	恵子

目的と方法

家庭科では、子どもたち一人ひとりが自らの可能性を追求し、多様なキャリア開発に向けて自己実現を図ることを目指している。しかし、現状では性役割意識やジェンダーバイアス、グラスシーリングの存在等に影響を受けていることも否定できない。予備調査では、小学校低学年と高学年の児童を比較するとジェンダーバイアスなどに差がみられることが明らかとなっている。子どもたちの発達段階をふまえ、男女共同参画社会の形成者の育成を目指す授業開発は、今日の重要な教育課題である。

小学校高学年から始まる家庭科において、ジェンダーに関わる学習内容は多岐にわたる。小中学校教員がこれらの内容をどのように教えるかによって、子どもたちのジェンダー意識や家庭生活観に大きな影響を与える。子どもたちのこれらの実態を把握した上で授業を構想できる教員を育成することが教員養成を目的とする家政教育講座の使命と考えている。

現在家政教育講座では、教科教育を専門とする3名の教員と、三地区にある附属小中の家庭科担当教員（常勤講師を含む7名）が、附属校を会場として、月1回の定例研究会を開催している。その研究会メンバーで、子どもたちのジェンダー意識と家庭生活観の実態を把握し、小中学校の家庭科の授業開発の際の基礎資料を得ることを本事業の目的とする。

具体的には、キャリア教育やジェンダー教育の現状と課題を把握する学習会を開催し、それらを踏まえて調査の実施、授業の開発を行う。

三地区附属校の児童・生徒を対象にしたアンケート調査の分析結果を基にキャリア開発を目指した授業を構想する。授業は次年度以降、附属小中学校で実践する予定である。

事業の実施

研究会の開催日と場所、内容は以下のとおりである。

- 4月7日(土)：天王寺キャンパス 顔合わせ及び今後の研究打ち合わせ
- 5月12日(土)：附属平野小学校 家庭科学習の課題について
- 6月23日(土)：附属天王寺小学校 子どもたちの家庭生活の実態について
- 7月14日(土)：附属池田小学校 家庭科でのICT活用について
- 9月15日(土)：附属天王寺中学校 子どもたちのジェンダー観について
- 10月6日(土)：附属平野中学校 (株)キャリアリンクの代表 若江真紀氏による学習会
- 11月23日(土)：附属池田中学校 アンケート内容を検討 ⇒

その後 12 月中旬のメール会議にてアンケート内容の確定

1 月中旬までにアンケート調査を完了・2 月データ入力・分析

■3 月 16 日(土):天王寺キャンパス 研究総括 分析結果の共有

結果と考察

① 学習会の成果

「社会に開かれた教育課程に対応する課題発見・解決型の授業開発」のテーマでキャリア教育やジェンダー教育の現状を踏まえた問題解決型の学習プログラムを院生 4 名も参加し、ワークショップ形式で学んだ。

講師の若江氏は、未来の創り手となる学びをどのようにデザインするのか、アクティブラーニングを支えるカリキュラム・マネジメントの要素を職業観・就労観の醸成、キャリアマネジメントなど 6 つ示し、キャリア発達を支えるプロジェクト型学習の特徴やカリキュラム・マネジメントの構造やテーマ設定について解説された。

「根源的な問いから家庭科の単元を考える」というワークでは、子ども達の意欲・関心ベースで授業を組み立てることができるフレームクエスチョン(カリキュラム構成質問)についてグループでディスカッションを行った。参加した教員、院生は授業の具体のイメージを持つことができた。

欠席の教員のために学習会を録画し、後日 DVD で内容を共有できるようにした。

学校教育が今後どのように変わっていかなければならないのか、社会に開かれた教育課程がどのようなものなのか、大変わかりやすく解説され、今後の授業開発に有意義な学びが共有できた。

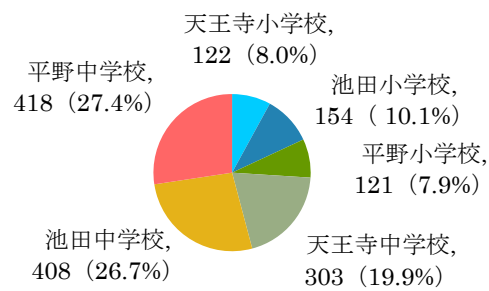
② アンケート調査について

三地区の附属小学校・中学校の家庭科担当教員が、家庭科の授業を通じて調査を実施し、1721 人から回答を得た。そのうちすべての設問に回答した 1526 人の回答を入力・集計し、性別・学年別・学校別・校種別に分析を進めているところである。1526 人の属性と性別役割分業観・ジェンダー観等に関する設問の結果の一部を別紙に示した。報告会では分析結果の詳細を述べたい。本調査結果は、日本家庭科教育学会の近畿地区会 50 周年記念誌に投稿する予定である。

今後の課題

年間を通して、土曜日に定例研究会を開催していたが、それぞれの学校行事などとの重なりもあり、日程調整が困難であった。来年度は、教員の異動などメンバーの入れ替わりも見込まれるが、できるだけ多くの教員が参加できるよう、開催時期や曜日、時間等を工夫し、研究会を継続したい。

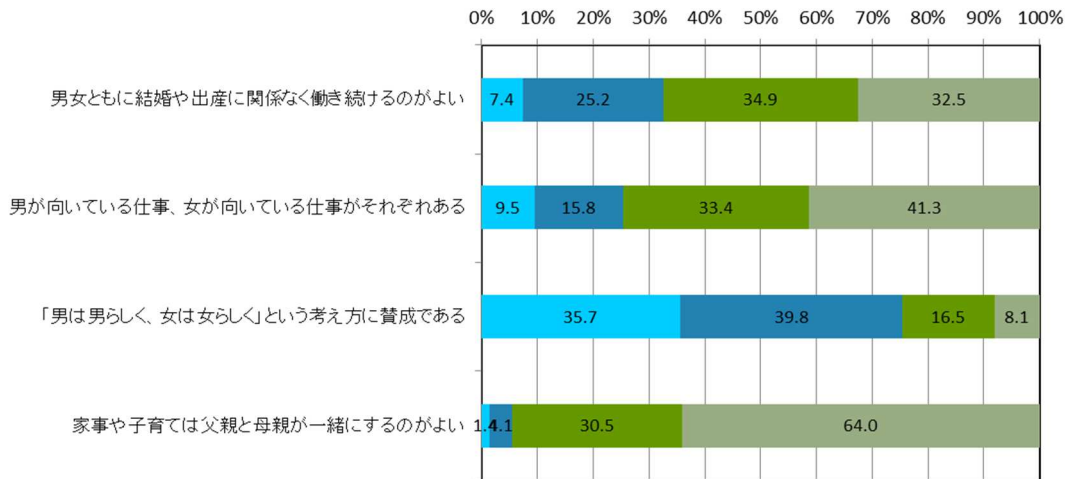
【S1】 学校名
(N=1526)



女子 802 名

【Q2】 【2】 以下の項目について、あなたはどのように思いますか？最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

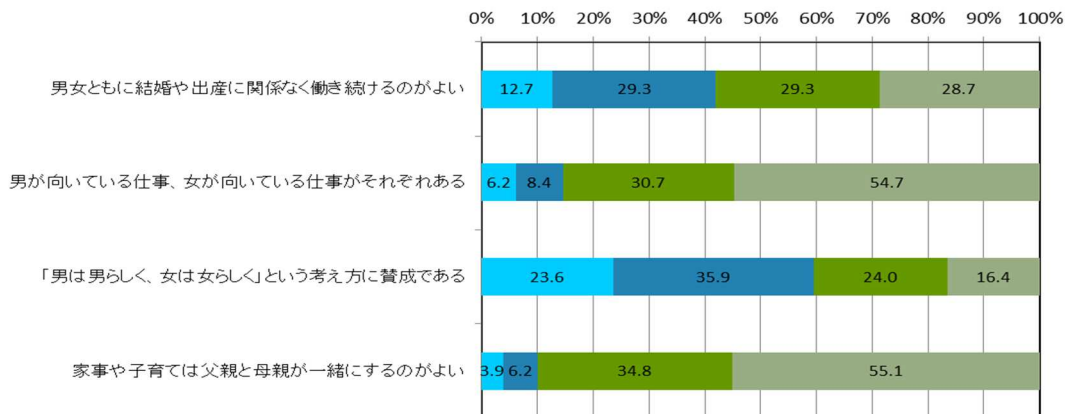
■ そう思わない ■ どちらかと言えばそう思わない ■ どちらかと言えばそう思う ■ そう思う



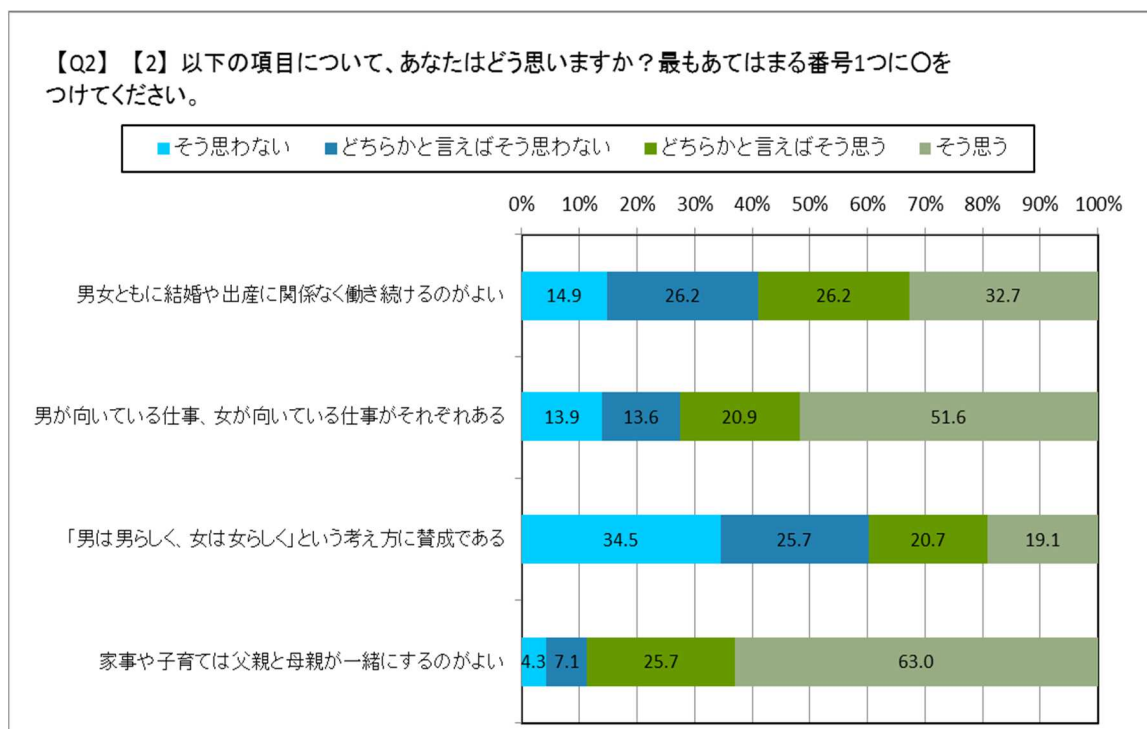
男子 724 名

【Q2】 【2】 以下の項目について、あなたはどのように思いますか？最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

■ そう思わない ■ どちらかと言えばそう思わない ■ どちらかと言えばそう思う ■ そう思う



小学校 397名



中学校 1129名

